

千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科で入院加療を要した歯性感染症患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年1月30日

歯科・顎・口腔外科

歯科・顎・口腔外科では、「入院加療を要した歯性感染症患者の COVID-19 発生前後における臨床的比較検討」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方や、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2015年1月1日から2026年1月24日の間に、千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科で歯性感染症により入院加療を受けた方

1. 研究課題名

「入院加療を要した歯性感染症患者の COVID-19 発生前後における臨床的比較検討」

2. 研究期間

2026年承認日～2026年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

歯性感染症による急速な炎症の進展で、入院加療を必要とする場合も少なくありません。特に易感染性の基礎疾患を有する患者は、重篤化のリスクが高く、入院加療の要否を早期に判断することが重要です。また COVID-19 の拡大による歯科医院への受診控えや医療提供体制の制約も歯性感染症に関連していると報告されております。基礎疾患や COVID-19 の流行が歯性感染症の重症化に影響したかどうかを評価するとともに、感染症流行下における歯科医療提供体制の課題を明らかにし、将来の公衆衛生危機に備えた歯科医療の在り方を検討することを目的とします。

本研究では、当科で入院加療を要した菌性感染症症例について COVID-19 発生前後で比較し後方視的に解析し、検証致します。

4. 研究に用いる情報の種類

本研究では、過去の通常の診療において記録された、診療録に記載されている情報を収集します。これには、年齢、性別、基礎疾患、来院地域、紹介元、医療機関受診までの日数、初診時白血球数、初診時 CRP、入院期間、処置方法、細菌培養検査結果、使用抗菌薬、原因菌および炎症波及経路、^{い かん せん せい き そ し っ かん}易感染性基礎疾患などの情報が含まれます。

※CRP：肝臓で作られる急性期反応蛋白の一種です。細菌感染や組織の炎症が起こると、血中濃度が急激に上昇します。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：歯科・顎・口腔外科 診療講師 宮本 勲

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、研究結果について当該機関の研究者等の判断の下、原則、研究対象者に開示します。また、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページを参照下さい。

千葉大学 URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも、不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください

い。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科 診療講師 宮本 勲

043(222)7171 内線 6831